

## 蘇州・ピサの斜塔

中国の歴史は古い。それは世界四大文明の一つにも挙げられ、長い歴史の積み重ねが今日の中国を形成していると言って過言ではない。古くから発達した町には様々な文化、文明が歴史的遺産として残されている。

蘇州の虎丘を訪ねた。ここは 2000 年の歴史を持つ「吳名第一の名勝」と称されている。標高 30m の小高い丘は太古の昔には海中の小島であった。唐代大詩人・蘇東坡は「到蘇州不遊虎丘者、乃憾也」と詠み、「せっかく蘇州へ行ったのに虎丘を訪れないのは勿体ない」と。この歴史を辿ってみれば春秋時代（紀元前 770 年～紀元前 403 年）ここに吳王の夫差が父親をここに葬った。その三日後には白い虎が現れ、墓の上にもうずくまっていたという伝説から虎丘と名付けられた。剣を愛した王のため夫差は 3000 本の剣を埋めたといわれている。



秦始皇帝や孫権がその剣を探し求めて掘られたのが剣池として残っている。

そして何とんでもこのシンボルは 961 年創建の虎丘塔であろう。高さ 48m、八角七層の塔は中国で最も古い塔の一つで、400 年前から地盤沈下で北へ 15 度傾いている。イタリアにも同じ世界遺産の「ピサの斜塔」があるが、高さ 55m 傾斜角度は 5.5 度である。虎丘塔はこうした同形からいつしかアジア版の「ピサの斜塔」といわれるようになった。

撮影 2010 年夏